

今年の日本平和大会は、基地の強化に反対する現地のたたかいと連帯するとともに、県民の意思を無視し強権的に進められる新基地建設とたたかう沖縄の人たちと大いに連帯する場ともなるでしょう。

民主諸団体と実行委員会を組織し1人でも多くの人に参加してもらおうと、参加者を募っています。参加希望の方は県平和委の山野・柴原までご連絡ください。

小松基地爆音訴訟 傍聴しよう

9月25日(日)14時半、金沢地裁

小松基地爆音訴訟裁判の第5・6次訴訟は、提訴から9年を経過し、他の基地裁判闘争に比べると長期になっています。

今年5月の公判より3人の裁判官が交代となり、裁判のスピードが速まるのではないかと見ていましたが、7月の公判で、2年半後の2020年3月頃に判決が出される可能性が強くなりました。ようやくトンネルの出口が見えてきたようです。

そして、9月25日と10月16日の公判では、それぞれ2名の原告の尋問が行われ、騒音被害について陳述します。いずれも午後2時半から金沢地裁です。ぜひ多くの方々の裁判傍聴をお願いします。

12月以降の公判では、健康被害調査に



護衛艦「かが」の金沢入港 に関し、4団体で申し入れ

7月10日、石川県に対して、海上自衛隊最大級である護衛艦「かが」の金沢港入港を認めないよう申し入れを行いました(写真=柴原和美事務局長撮影)。

護衛艦「かが」は、基本排水量19500トン、最大14機のヘリコプター搭載可能な大型の護衛艦で、ヘリ空母とも呼ばれる船です。今回の金沢港入港は、海上自衛隊からの強い要請があつて実現したものです。しかし、国際的に「軍艦」に分類される自衛隊艦船の入港は、谷本県知事がめざす「金沢港を日本海側拠点港として、大型クルーズ船や貨物輸送で発展させる」とい

石川県知事 谷本 正憲 様

護衛艦「かが」の金沢港入港を拒否することを求める申し入れ

2017年7月10日
石川県平和委員会、石川県労働組合総連合、憲法を生かす新しい県政をつくる石川県民の会、新日本婦人の会石川県本部

海上自衛隊最大級の艦艇である護衛艦「かが」が7月14日～17日の4日間、金沢港に入港し大浜埠頭に停泊すると報じられています。

知事は、クルーズ・貨物両面での金沢港の拠点港化の推進として「金沢港がクルーズの拠点港として、大きく飛躍できるかどうかの、いわば正念場」「今年のクルーズの成功に向けまして、これまでよりも一歩も二歩も踏み込んだ利用促進を図っていかないといけない」と述べています。私たちも、金沢港が「平和な港」として、軍事利用ではなく観光客利用や貨物輸送で発展することを望んでいます。しかし、国際法上「軍艦」として扱われる自衛隊艦艇(根拠:1954年の衆院内閣委員会での木村篤太郎保安庁長官(当時)答弁)の入港は、民間港としての金沢港の発展にとってふさわしいものではありません。

しかも、朝鮮半島情勢が緊迫するこの時期に、対岸に位置する民間港である金沢港への自衛隊艦艇の入港は、対外的にも悪影響を与えかねません。

以上のことから、私たちは次のことを求めます。

- 1 7月14日からの護衛艦「かが」の金沢港入港を認めないこと
- 2 今後、災害時等の特別な場合を除き、石川県が管理する港湾への自衛隊艦艇の入港を拒否すること 以上

当たった服部医師等への尋問が予定。

小松基地へ嚴重抗議の申し入れ

7月5日に夜間訓練中の小松基地所属のF15戦闘機が「油圧の異変を示す警告灯が点灯した」ため緊急着陸したことに対して、11日に平和委員会や米軍来るな市民連絡会など4団体が小松基地に対して抗議と申し入れを行いました(中部航空方面隊司令官、航空総隊司令官、航空幕僚長宛にも申し入れ文を手渡しました)。

昨年7月以降、日米共同訓練中の米軍F15戦闘機の緊急着陸や小松基地の飛行教導群のF15戦闘機が千歳基地や嘉手納基地に緊急着陸したものを含めて、小松基地関係での機体トラブルや部品落下事故が9回も発生しており、異常な事態と言わざるを得ません。

申し入れ内容は以下の4点。①全ての航空機の飛行訓練を中止し総点検を行うこと。②徹底した原因究明を行うこと。③原因調査の結果を住民に対して説明し公表すること。④住民が納得できる安全対策を講じること。

しかし、対応した基地対策専門官は、「上司及び上級部隊に伝える」と答えるだけで、原因や航空機の点検等肝心なことは「答えられない」との回答でした。

う方針とは矛盾するものです。

石川県平和委員会など4団体は、「平和な民間港として金沢港の発展を考えると、自衛隊の艦船の入港は相応しくない」「大型護衛艦の金沢港入港は、対岸の朝鮮半島の緊張状態を悪化させる可能性がある」と入港拒否を強く求めました(下の申し入れ書参照)。

同時に、防衛大臣及び海上幕僚長に対しても入港中止を求める申し入れ書を提出しました。

ニュース・フラッシュ

- 6月7日 「怒りの昼デモ」
- 9日 「6・9署名行動」
- ※以降、共謀罪法案ストップの朝宣伝が金沢市内各地域で続きました
- 10日 「平和委員会全国大会」が岡山で開催され、(11日まで)日谷守・山野健治両代表理事が出席
- 11日 国民平和行進・能登コースが輪島からスタート
- 15日 沖縄連帯街頭宣伝
- 17日 「国民平和大行進」県内入り(24日、福井へ引き継ぐ)



広島に向け元気に歩く津幡町地内

- 19日 「ピーステント」
- 21日 「怒りの昼デモ」
- 23日 小松爆音訴訟連絡会「総会」
- 7月6日 「6・9署名行動」。小松爆音訴訟公判
- 7日 護衛艦「かが」入港に関し県などに申し入れ
- 11日 F15戦闘機事故に関して小松基地申し入れ(14日には小松市にも申し入れ)
- 11日 愛知・岐阜平和委員会の8人が小松基地調査で来県・交流。翌12日、両県代表を金沢城周辺の戦跡を案内
- 14日 映画「明日へ 戦争は罪悪である」試写会
- 15日 沖縄連帯街宣に4人参加(写真)
- 17日 富山の国民救援会メンバー11人を金沢城戦跡をガイド
- 19日 「ピーステント」
- 28日 原水禁世界大会の結団式・壮行会が勤医協会館で行われ、意思統一を図りました
- 29日 石川県革新懇「総会」がITプラザ武蔵で開かれ、新潟の滝澤氏が記念講演
- 30日 美川文化会館で「ピース9フェスタ」
- 8月2日 「怒りの昼デモ」
- 6日 6・9行動。県庁展望ロビーで、実行委員会による「原爆パネル展」(17日まで)が開催されました
- 7日 「原水禁世界大会」に県代表団37名が参加(9日まで長崎)
- 19日 「ピーステント」